



TITLE:

官業問題二就キテ(一)

AUTHOR(S):

神戸, 正雄

---

CITATION:

神戸, 正雄. 官業問題二就キテ(一). 經濟論叢 1917, 4(1): 1-16

ISSUE DATE:

1917-01-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127150>

RIGHT:

京都帝國大學法學科大學

# 經濟論叢

第四卷 第一號

大正六年一月一日發行

## 論說

官業問題ニ就キテ(二).....

法學博士

神戸正雄

體質廢類問題(二).....

法學博士

財部靜治

戰時ノ我輸出品ノ粗製濫造(二完).....

法學博士

戸田海市

消費ニ關スル學說ノ發達(二).....

法學博士

瀧本誠一

經濟心理學ノ組織的研究(二).....

法學士

米田庄太郎

米券倉庫ヲ論ス(二完).....

法學士

河田嗣郎

## 雜錄

賤民名稱考.....

文學博士

新村出

女ニ子ヲ生マス政策.....

文學士

米田庄太郎

原始亂婚ニ就イテ.....

文學士

高田保馬

寶曆ノ豫算.....

法學士

本庄榮治郎

歐洲ニ於ケル工場監督機關ニ就テ(二完).....

法學博士

山本美越乃

經濟雜話(七).....

法學博士

田島錦治

戰後ニ對スルニ大準備.....

法學士

河田嗣郎

新著紹介及ビ寄贈書目

# 經濟論叢

第四卷 第一號 (通卷第十九號)

大正六年一月發行

論

說

## 官業問題ニ就キテ (一)

神戸 正雄

緒言——政治上ヨリ觀タル官業——生産政策ヨリ觀タル官業——社會政策ヨリ觀タル官業——財政上ヨリ觀タル官業——結論

### 緒言

官業問題ハ我邦現下ノ一問題デアリ、又世界ニ於ケル當面及近キ將來ノ重大問題デアル。世界的  
大勢(註一)ハ確カニ之ガ擴張ニ在ツテ、結局ハ社會主義的理想ニ一歩々々ト近接シツ、アル。(註二)  
特ニ此度ノ戰爭ガ此氣運ヲ助長シタルコトハ爭ハレヌ。デ日本モ此大勢ニ卷込マルルコトトナル  
ヲ免レヌトモ考エラルガ、現下我國ノ財政ニ於テ之ガ實行ヲ計ルホドノ必要モナク、既ニ此必  
要ナシトイフコトヲ前提トスルナラバ、寧ロ之ガ緊縮ヲ計リ、少クトモ之ガ擴張ヲ抑ユルヲ選

論說 官業問題ニ就キテ(一)

第四卷 (第二號) 一

1) Fischer, Der Krieg und das sozialistische Werden. (Annalen für soziale Politik und Gesetzgebung. IV Bd. 1 & 2 Hft.) Plenge, Wirtschaftsstufen und Wirtschaftsentwicklung. (Annalen f. soc. Pol. u. Gesetzg. IV Bd. 5 & 6 Hft.) Voigt, Kriegssozialismus und Friedenssozialismus. (Zeitschrift für Sozialwissenschaft. Neue Folge. VII. Jg. 1 Hft.)

ムヘシトスル。予ハ即チ左ニ其理由ヲ述ヘヤウト思フ。

(註一) につちハ殆ンド常ニ財政學者(國家ノ私的財産收益ヲ生ズル財産)ノ減少ヲ自然的且ツ必然的ノモノトイフガ、予ハ之ヲ疑フモノデアルトイヒ、其ノ或モノハ減少シテモ、將來ニハ過去ニナカリシ他ノモノガ増加スルデアラウトイフテ居ル。<sup>2)</sup>

(註二) ばすてーぶるハ曰ク、國家ノ所有及管理ノ擴張ハ社會主義ノ方向ヘノ第一歩也<sup>3)</sup>

予ハ之ヲ先ツ政治上ヨリ觀察シ、即チ官業ガ政府營ニ適當スルモノナリヤ將タ弊害ナキモノナリヤヲ驗シ、然ル後生産政策上ヨリ官業ガ民業ヨリモ有利ナリヤヲ見、社會政策上ヨリ良好ナリヤヲ考ヘ終リニ財政上ノ利弊ヲ調ヘヤウト思フ。但其論據ニハ相對的ナルガ多クテ、絕對的ニ之ヲ主張スルコトハ頗ル難イ。(註三)特ニ生産政策上ヨリ見タルモノニ於テ然リトスル。(註四)又之ヲ論證スル爲メニ屢々統計上ノ比較ガ試ミラルル所デアアルガ、(註五)之モ異國異地ニ於ケル地理的經濟的政治的社會的條件ノ相違アルカ爲メニ全然信賴スル譯ニハ往カヌ。同一國ニ於ケル異時代ノ比較ニテモ、其時々ノ事情ノ相違ガアルカラシテ、之ヲ利用スルニ就イテハ十分ノ注意ヲ要スル。(註六)

(註三) ばるぐむハ曰ク、公共團體ガ收入ヲ擧グル爲メニ固有ノ經濟行爲ヲ營ムベキヤノ問題ハ原則上ノ問題トイフヨリハ寧ロ便宜ノ問題デアルト又曰ク公營ノ原則的ノ排斥ハ問題トナラズト特ニ鐵道ニ就キテわぐな一モ亦曰ク、其國有私有何レニ對シテモ、一方チ良シトスル絕對ノ原則ヲ定メルコトハ出來ナイト<sup>4)</sup>

(註四) 特ニ鐵道ニツキ、わぐな一ハ生産政策上國有私有ノ可否論ガ凡ヘテ相對的也ト爲ス所デアアルガ、ろつしあ一モ亦鐵道ニ於テ理論ヨリモ、經驗ヨリモ、國營ガ技術上經濟上等ニテ私營ニ劣リ又ハ優ラサルヘカラザルカヲ定ムル一般の根據ナシトイフテ居ル<sup>5)</sup>

2) Nitti, Principes de science des finances. p. 242.  
3) Bastable, Public finance. 3 ed. p. 231.  
4) Borgh, Finanzwissenschaft. S. 46.  
5) Derselbe, ebenda. S. 47.  
6) Wagner, Finanzwissenschaft. 3 Aufl. I. S. 694.  
7) Derselbe, ebenda. S. 666.  
8) Roscher, System der Finanzwissenschaft. 5 Aufl. I. S. 160.

(註五) 例之ぎゆーヨーが電話ニツキ民營ノ可ナルコトヲ示サウトシテ、英國ニ於ケル今日ノ人口百ニツキ電話數一、四ニ對シ合衆國ノ其ハ八、一倫敦ノ人口百ニツキ二、八ニ對シテスあんにえるす二四、〇ノ割ナルコトヲ擧ゲタルガ如キデアル尙ホ<sup>9)</sup>後ニ擧グベキ生産政策ヨリ見タル官業ノ部ニ於ケル鐵道線路ノ比較ノ如キ亦著シキ他ノ例デアル。

(註六) だんハ曰ク、統計上ノ比較ハ異レル鐵道ノ管理ノ相對的能率ニ關シテ満足ナル證明ヲ與フルコトハ稀デアルト、<sup>10)</sup>ばすてーぶるモ亦タ鐵道ニツキ、國有ノ成否ハ其國ノ特段ナル構造及地位ニ係ルヘク、普魯西鐵道ノ良キ財政上ノ結果ハ大ニ此國ノ勤務ニ於ケル熟練シタル役人ノ熟練及注意ニ歸スベキモノデアアルトイフテ居ル。<sup>11)</sup>實際普魯西ノ國營鐵道ノ好成績ハ當務者タル役人ノ良キコトニモ依ルガ更ニ其地勢ノ平坦ナルコトニモ貢フコトガ少クナイ。ぎゆーヨーニ依ルト、獨逸鐵道ノ建設費ハ頗ル小デ、獨逸ノ北部ノ如キ全ク平坦デ一隣道サヘナイ。其一九〇七年ノ哩毎ノ建設費二七七、一二一馬克デアルノニ、歐羅巴ノ平均ノ其ヘ三三六、〇〇〇馬克デアツタトイフノデモ明カデアル。<sup>12)</sup>

## 第一段 政治上ヨリ觀タル官業

官業ガ政治上ヨリ見テ適當ナルモノナルカトイフト、之ニ肯定的ノ論點モアレバ、否定的ノ論點モアツテ、其肯定的ノ論點ガ即チ財政收入上ノ目的以外ノ目的ヲ有ツ所ノ官業ノ根據トモナルノデアアル。(註七) 否ナ財政收入上ノ目的ヲ追フ所ノ官業ニテモ往々ニシテ此政治上ノ根據ニモ據ル所デアアル。(註八) 故ニ此政治上ノ觀點ハ見様ニヨツテハ官業存立ノ根據トシテハ最重要也トモイハルルヲ得ルガ、恰モ同政治上ノ觀點ノ他ノモノヨリシテ、最有力ニ其存在ヲ否定セラるルコトトナルノハ面白イ。而シテ此兩觀點ノ孰レヲ重シトスルカハ之ヲ定ムルコト固ヨリ困難デアアルガ、

9) Guyot, Where and why public ownership has failed, transl. by Baker. p. 448.  
10) Dunn, government ownership of railways. p. 143.  
11) Bastable, l. c. p. 226.  
12) Guyot, l. c. p. 57.

肯定論點ガ特定の局限的デアルノニ、否定論點ガ一般的普遍的デアル所カラ見レバ、官業ハ政治上特段ナル必要ナキ限り、成ルヘク之ヲ設ケナイコトトスルノガ適當トイフコトナル。デ肯定の論據ハ常ニ出來ルダケ嚴格ニ狭小ニ解釋スヘキデアル。

(註七) 官業ガ何方ガ第一問題トナルガ、此點ハ別篇ニ譲ル。官業トハ政府又ハ國家ノ事業トイフコトデ、其企業、又ハ嚴格ニ企業トイフコトガ出來ナイデモ、人民ニ於テ營マルルナラバ、企業タリ得ルモノト解スルナ穩當ト思フ。

此官業ノ中ニハ(1)財政的官業、收入ヲ舉グルコトヲ計ルモノ、(a)自由競争市場ニテ營マルル所ノ純營利事業(b)徵稅ノ一形式トシテ營マルル所ノ租稅化シタル營利事業、各種專賣、(2)公益的官業、専ラ又ハ主トシテ公益ヲ計ルモノ、(a)國利民福ヲ計リ傍ラ多少ノ營利ヲ爲スモノ、模範工場、(舊時ノ製鐵所)山林(ニ附帶シテ製材所鐵道(ニ附帶シテ製鐵所、機械製作所)簡易保障、貨幣鑄造(b)營利ヲ爲サズ、専ラ政府所要ノ品物ヲ調達スルモノ、印刷所、軍需品工場(ニ附帶シテ製鐵所)ガアル。本文ニ財政收入上ノ目的以外ノ目的ヲ有ツ所ノ官業トイフタノハ此公益的官業ヲ指スノデアル。試ミニ二三學者ノ官業分類ヲ例示スルト、あだむスハ公業ヲ(1)本來、收入ノ爲メニ企テラレタル事業(各種專賣)(2)收入ノ偶然ナル事業(造幣、郵便電信電話鐵道等)(3)本來勤務ノ爲メニ企テラレタル事業(教育、森林、水利)ニ分チ、<sup>13)</sup>こんら<sup>14)</sup>ハ國家ノ經濟的企業ヲ(1)福祉設備、此ニテハ國庫ノ爲メニ剩餘ガ求メラレズ、場合ニヨリテハ尙交付金ノ與ヘラルルモノ(勞働保障)(2)或國家目的ノ實行ノ爲メノ補助設備、之ヨリシテ或モノヲ生ズルモ、特ニ營利ヲ目的トセザルモノ(貨幣鑄造)(3)特段ナル租稅目的ヲ有スル工企業(財政獨占)(4)國家財産ノ私經濟的經營ニ於ケル利用(土地、森林、鐵道等)ニ分ツ。わぐな<sup>15)</sup>ハ國立工場ヲ分ツテ(1)純財政上ノ目的ヲ有ツモノ(2)國民經濟上ノ目的ヲ有ツモノ(3)一定ノ物財ニ對スル國家自身ノ需要ヲ充タス目的ヲ有ツモノトシテ居ル。

(註八) 例之、財政的官業ノ一タル專賣ノ設定ノ如キ、往々ニシテ民業ニ於ケル大資本家ノ獨占ノ抑壓、(日本ノ煙草專賣)因弊セル民業ノ救済(日本ノ鹽專賣)等ノ公益上ノ理由ニモ出デテ居ル。

(一)肯定的論據——官業ハ公益ヲ尊重シテ經營ストイフコト

13) Adams, The science of finance. p. 268. 273. 276.

14) Conrad, Grundriss. Finanzwissenschaft. 2 Aufl. S. 119.

15) Wagner, a. a. O. S. 622-3.

民業デアルト、自然營利心ニヨリテ經營セラレ、隨フテ公益ヲ輕視シ又時トシテハ之ヲ無視スルコトトモナル。或程度マデ政府ガ之ヲ監督シ、之ヲ矯正スルコトトハナルガ、場合ニヨツテハ之ダケデハ公益ヲ完全ニ充タスコトガ出來ナイ。然ルニ官業デアレバ其性質上、營利ヲ計リ收入ヲ擧グルコトヲ努メツツモ、公益ヲ尊重スルコトガ出來、又營利ヲ眼中ニ置カズシテ専ラ公益ノミヲ計ルコトモ出來得ル。(註九) 勿論民業デモ公益ヲ損スルコトナクシテ行ハレヌトイフ譯デハナク、普通ノ營利事業ハ民營ニテモ公益上差支ハナイガ、少クモ特段ナルモノニツイテハ官業トスルデナケレバ國家ニ取ツテ重要ナル公益ヲ完フスルヲ得ザルコトトナル。例之諸多ノ公益上ノ理由、特ニ戰時輸送ヲ敏速ナラシムルノ理由ヨリシテノ鐵道(註一〇) 特ニ秘密ヲ要スルダケニ於ケル軍需品工場(註一一) 經濟上ノ秩序ヲ保ツ爲メニ避クヘカラザル造幣工場(註一二) 濫掘及價格鈞上ノ危險ヲ防グニ必要ナリト認メラルル鑛山(註一三) 水利水害豫防氣候調節木材供給維持ノ爲メニ必要ナリトセラルル山林等<sup>16)</sup>ノ如キデアル。

(註九) 此ニ公益トイハルノハ廣ク、國民經濟上、社會政策上ノ利益等、苟クモ財政又ハ國庫上ノ利益以外ノ公共の利益ヲ指スノデアル。——官業ニ在テハ財政利益ノ外ニ、此公益ヲ合併セ計ルコトニツキテハ、例之、ばるぐまハ曰ク、此ノ如キ經營(收入ヲ目的トスル)ヲ常ニ出來ルタケ多收ナラシムルノハ本來當然デアル。但テ公共の經營ハ私經濟ノ如ク一般國民經濟的及社會政策的必要ニ對シテ無頓着ニテ收入ヲ擧グル目的ヲ追フコトハ出來ナイ。事情ニヨリテハ全體ノ福祉ガ收入ヲ擧グルノ努力ヲ止メルコトヲ要求スルコトヲ得ル。公共團體ノ固有ノ經濟行為ハ全體ノ福祉ノ進捗ヲ可能トスルコトヲ計算ニ

16) Bastable, l. c. p. 186 &c.

入レナクレバナラヌト。又<sup>17)</sup>べるひハ曰ク、私人ハ其經濟行爲ニ於テ營利心ノミヨリ行動スルヲ例トスルケレトモ、國家ハ國民經濟的社會政策の一般的性質ノ考察ヲ爲スヘキモノデアアル。實ニ此等ノ考察點ガ諸多ノ場合ニ純國庫の考察點ヲ超ヌルコトヲ得ルト。夫ノすたいんノ如キハ一般ニハ官業ヲ否定スル所デアアルガ、國家ハ唯タ其行政的活動ノ條件及部分トシテ現ハルル企業ノミヲ初ムルコトヲ得ル。斯ノ如キ企業ニ對スル理由ハ其營業の利益デハナクテ、其行政上ノ必要デアルトイフテ居ル。<sup>18)</sup>

(註一〇) (い)鐵道國有又ハ國營ノ理由ハ之ヲ財政ヨリモ公益ニ求ムルコトガ普通デアアル。例之へつけるハ曰ク、國有鐵道ノ國有ノ經營ハ交通方便ノ公共の性質一般及政治的利益ニ適フ。國家ハ當ニ鐵道企業者タルノミナラズ、同時ニ全體ノ利益ノ代表者ナルガ故ニ、其鐵道政策ニ於テ廣キ營業の利益ト他ノ高キ種類ノ動機トガ結合スルニ而シテ、此力純營利ノ立脚點ニ影響シ又ハ之ヲ制限スルト、かいつるモ亦曰ク、輿論ガ今日ノ政治社會の潮流ニ於テ鐵道國有ノ方ニ向フトモ、此ハ國有鐵道及其國營ガ相對的ニ大ナル經濟政策的及社會政策的利益ヲモツカ爲メテ、國家ガ其鐵道ヲ常ニ私企業ヨリモ一層良ク又經濟的ニ管理シ、一層小ナル生産費ニテ一層良キ給付及一層大ナル收入ヲ擧ゲ得ルガ爲メデアライ。此ニハ問題ノ政治的方面ガ前面ニ現ハレテ、經濟的方面ガ現ハレナイ。又曰ク、鐵道ハ經濟生活ノ區域ノ中テ國家ガ私經濟制度ヲ制限スルヲ利トスル最重要ナル場合デアルト。こつさハ曰ク、國有鐵道ト私有鐵道ト今日何レガ勝ツカノ問題ハ國民經濟上ノ利益ヨリ前者ノ利ニマテ答ヘラルルト<sup>19)</sup>まんなぎモ亦曰ク、本問題ニツイテハ事實上國民經濟の根據ガ決定的デアアル。併シ財政上ノ根據ヨリシテモ多數ノ國ニハ國有鐵道制度ガ獎ムヘキモノデアラウト<sup>20)</sup>あだむすハ曰ク、(民業ガ獨占トナルコトニヨリ生スル)弊害ガ政府所有及其管理ニヨツテ排除セラレ、更ニ他種ノ弊害ガ此變化ニヨツテ導カレザルコトヲ假定シテ、財政上ノ考察ヲ離レテモ、國有鐵道制度ヲ辯護スルノ理由ガ容易ニ立テラルルヲ得ルト。又曰ク、鐵道ヲ含ム所ノ第二種ノ官業ニツキ指導ノ考ハ收入デハナイ。併シ私企業ニ伴フ所ノ社會上ノ弊害又ハ公經營ニ伴フ社會上ノ利益デアルト。<sup>21)</sup>まーんハ曰ク、鐵道ハ決シテ財政上ノ目的ノ爲メニ國家ヨリ建設セラレナイ。又ハ株式會社ノ手カラ國家ノ所有及管理ニ移轉セラレナイ。此ガ一般ノ傳來的ノ道路法(經驗ニ依レバ、交通上ノ利益ト投機的ナル私企業ノ利益トノ頗々タル且ツ多樣ナル衝突ガ唯タ公ノ行政ニヨリテノミ排除セラルルヲ

17) Borcht, a. a. O. S. 47. 18) Eheberg, Finanzwissenschaft. 9 Aufl. S. 67.  
19) Stein, Lehrbuch der Finanzwissenschaft. 5 Aufl. II. I. S. 218. 20) Heckel, Lehrbuch der Finanzwissenschaft. II. S. 343. 21) Kaizl, Finanzwissenschaft, II. S. 61-2. 22) Derselbe, ebenda. S. 64. 23) Cossa, Grundriss der Finanzwissenschaft. S. 42. 24) Conrad, a. a. O. S. 128. 25) Adams, l. c. p. 263-4. 26) Adams, l. c. p. 274. 27) Cohn, System der Finanzwissenschaft. S. 223.



得ルノ故ニ、公私交通ノ最良ノ管理ノ爲メニ、道路ノ公共的維持が私的維持ニ勝ルトイフノ結果トシテ國家行政ノ一部トナツタト、<sup>27)</sup>えーべるハ曰ク、鐵道ノ國有私有問題ニツキテハ證明が専ラ又ハ主トシテ純財政上ノ考察ニヨルコトハ出來ナイ。其根據ハ交通方便ノ特段ナル性質カラモ導カレバナラヌ。其國營ノ必要ナル理由トシテ人ハ一層正當ニ、交通機關ノ公共的性質ヲ置ク。鐵道國營ノ肯定ハ斯カル國家干涉ニ拘ラズ、交通機關ノ公共的性質ヨリ生ズル要求ガ、私會社ニテハ十分ナル承認及實行ニ齎ラスコトノ達セラレナイコトカラ生ズル。私會社ニテハ出來ルタケ高キ配當ニ於ケル利益が前面ニ現ハルルト。<sup>28)</sup>特ニ軍事上ノ理由ニツキテハ、ろつしあーハ曰ク、國家的鐵道建設ハ非常ニ重要ナル軍略上ノ觀察點ヲ顧慮スルコトヲ得ルト、<sup>29)</sup>わぐなーハ曰ク、戰爭ニ於ケル鐵道ノ大ナル重要ニ於テ、國有鐵道制度ニハ、軍事上ノ目的ノ爲メノ鐵道利用ガ一層迅速且ツ簡單ニ處理セラルルトイフ利益ガアルト、えーべるハ曰ク、鐵道ハ國家ノ手ニアルトキニ、一層其軍務行政ノ要求ニ適フト。<sup>30)</sup>こーんハ曰ク、國家ハ鐵道ヲ軍略上ノ目的ノ爲メニ要スル。單ニ動員及戰爭ノ場合ニ於ケル此等ノモノノ無限ナル使用ノミナラズ、軍事上ノ目的ノ爲メ最希望スヘク又最短キ線路ノ建設モガ、國家ヲシテ其ノ獨立ナル行政(國營)ヲ爲サシムルコトトナル。何トナレバ此ニハ全體ノ利益ノ爲メニ犧牲が要求セラレ私企業ハ到底此ニ當ラナイカラテアルト、<sup>31)</sup>いはーリ<sup>32)</sup>ハ鐵道ヲ公益上國有トスヘキモノト認メツツ其直營ヲ排斥スル所テアルガ、問題ナ餘リニ行過ギサセナイ爲メニ茲ニ其論ニ説及スルコトヲ止メル。

尙ホ鐵道ノ公益上國有トセラルヘキ事ニ關聯シテ若干ノ異論ガアル<sup>33)</sup>特ニ公安トイフ點カラぎ<sup>34)</sup>よーノ如キハ國有ノ場合ノ方が私有ノ場合ヨリモ一層不長トイフ。彼ノ舉グル例ニ依ルト、佛國ノ一九〇五—一九九年ニ於ケル旅客ノ平均死傷數ハ

政府線

私有線

|                  |      |      |
|------------------|------|------|
| (a) 百萬運送旅客毎ニ     | 一、五八 | 〇、七九 |
| (b) 百萬旅客きろめーとる毎ニ | 〇、〇三 | 〇、〇二 |
| (c) 百萬列車きろめーとる毎ニ | 一、〇一 | 一、四六 |

彼ハ其他白耳義國有線ト佛蘭西私有線トノ比較、獨逸國有線ト佛蘭西私有線トノ比較ヲモ爲シテ同様ノ證明ヲ與エントシテ

28) Eheberg, a. a. O. S. 96. 97.

29) Roscher, a. a. O. S. 161.

30) Wagner, a. a. O. S. 693.

31) Eheberg, a. a. O. S. 96-7.

32) Cohn, a. a. O. S. 223-4.

33) Beaulieu, Traité de la science des finances. I. p. 98.

34) Beaulieu, I. c. p. 100-1.

居ル。<sup>35)</sup>然シ一概ニ斯ノ如クニ結論スルコトハ輕卒ノ非難ヲ免レナイ。即ちだんハ曰く。統計ハ鐵道ノ所有形式(國有カ私有カ)ト其運轉ノ安全トノ間ニ關係アリトイフコトヲ示スモノト解セラルルヲ得ナイ。但タ國有ノ行ハルル處デハ、安全ト政府ノ形式トノ間ニ聯絡アルコトヲ示ス。歐羅巴ニテハ強キ政府ヲ有スル國ノ國有鐵道ハ、一層民主的ナル政府ヲ有スル國ニ於ケル其ヨリモ、全體上一層ノ好成績ヲ示ス。例之獨逸ノ國有鐵道ハ安全ニツイテハ高位ニ在ル。瑞西ノハ相對的ニ低ク、佛蘭西ノハ最低イト。<sup>36)</sup>デハ公安ノ點カラ國有鐵道ヲ否定スルヲ得ルホドニ、此ガ有力ナル非難デハナイ。<sup>37)</sup>更ニ軍事上國有鐵道ノ有リナルコトニ對シテハ、國有鐵道デアルト、其設備ノ中、少クトモ動的ノモノヲ敵國ニ分捕リセラルルトイフ(私有鐵道デアレバ平和克復後返還セラルルノニ)非難ガアル。併シ此ノ如キ敗戰の結果ハ眼中ニ置クノ値ハナイ。ムシロ、斯カル結果トナラヌ爲メニ初メヨリ鐵道ナ國有トシテ置イテ軍事上ノ目的ニ適ガカ如ク敷設シ經營スルヲ要トスル。此非難ハ以テ鐵道國有ノ軍事上ノ必要ヲ動搖セシムルニ足ラナイ。

(註一二) (い) うんぶえんばつはノ如キハ、一般ニハ官工業ヲ排斥シツツ其例外ノ一トシテ、其調達ノ私營ニ任カス能ハザルモノ例之軍需品工場ヲ舉ゲテ居ル。又ばすてーぶるモ國家ニ依ル軍需品ノ直接製造ニハ強キ經濟上及財政上ノ故障ガアルガ、併シ或場合ニハ產物ニ於ケル高キ優等性ヲ保全スルコトガ重要デアル。且ツヤ供給ノ代ハルヘキ源ヲ有ツコトニヨツテ價格ヲ下ニ保ツコトノ可能モガ、國營ヲ認メシムルコトナルトイフテ居ル。<sup>38)</sup>之ニ反シば、<sup>39)</sup>の如キハ兵器製造ノ爲メニモ私立工業ガ國家ノ工場ニ勝ルコトヲ經驗ガ示シタルガ如シトイフ所デアル。<sup>40)</sup>(イ) 予ハ右兩説ノ拆衷ヲ採ル。極秘ヲ要スルモノダケハ國營トスルガ、大部分ハ民營ニ任カスヘキモノト思フ。其理由ハ民業ナレバ、官業ト異リ平時外國注文ヲ盛ニ取ルコトガ出來テ、其給付能力ガ官業ノ場合ヨリモ非常ニ大ナルコトヲ得、此ニヨリ戰時ニ於ケル非常ニ巨大ナル需要ニ應ズルコトガ出來ルトイフニ在ル。若夫レ高キ優等性ノ如キニ至テハ、今日ノ文明國ノ工業ノ發達度ニテハ民業ニテモ保チ得ル。又價格ノ點ニ至テハ外國ノ競争モ多少ハアラウシ、官業ガナクテモ大シテ不利トハナルマイ。假令此點ニ於テ若干ノ不利ガアルトモ戰時非常ノ場合ノ大給付能力ハ以テ、此不利ヲ償フニ足ラウ。

(註一二) ろつしあーハ私人ノ自由競争ガ公共ヲ危クスルモノトシテ貨幣鑄造ヲ舉ゲテ居ル。<sup>41)</sup>あだむすハ之ヲ以テ私企業ニ任

35) Guyot, l. c. p. 273-4.

36) Dunn, l. c. p. 240.

37) Wagner, a. a. O. S. 692.

38) Umpfenbach, Finanzwissenschaft. S. 349.

39) Bastable, l. c. p. 195. 196.

40) Beaulieu, l. c. p. 94.

41) Roscher, a. a. O. S. 164.

カストキハ社會及商業上ノ弊害ノ機會トナルヘキ工業トシテ居ル。尤モ此貨幣權ノ一部ヲ實行スルトイフ點カラ國營トスルヲ至當トスルガ如ク見ユルニ拘ラズ、國營トシテハ政治上ニ濫用サルルコトヲ恐ルルノ故ニ、齊シク公益上ノ理由ヨリ、ムシロ國家ノ特別ノ監督ノ下ニ於テ民營ニ任カサルルモノハ兌換券イ發行デアアル。

(註一三) 尤モ此鑛山ノ國營ハ必スシモ變メラレヌ。(例之ぼるぐミハ之ガ國營ニ反對セラレズトイフテ、其理由トシテ、民營ニ於ケル掠奪的探掘ノ危險ト、大營利會社及公共團體ガ好成績ヲ舉グル能ハザル程、商人的及投機的元素ヨリ支配セラレナイコトトテ舉グルガ(43)之ニ反シにつちハ國家ガ鑛業ヲ管理スルハ頗困難也トイヒ、<sup>(44)</sup>はすてゝぶるハ(鑛山ノ收入ハ動搖スル故)鑛山ヲ賣却シテ、其代金ヲ以テ負債ノ減却ニ當ツルコトガ希望ス、ベキコトデアル。財政上ノ觀點ヨリシテハ賣却政策ノ賢キコトガ爭ハレナイトイフテ居ル。<sup>(45)</sup>

## (二) 否定的論據——

(A) 根本的ノ否定論據——官業ハ政治ト一致セズトイフコト

政府ハ政治スヘク營利ヲ爲スヘキモノデナイトイフコトハ原則トシテハ正シイ其意味ハあだむすみすノ商人ト君主トノ兩資格ホド兩立シナイモノハナイ(No two characters seem more inconsistent than those of trader and sovereign.)<sup>(46)</sup>トイフニ歸スル。(註一四)其理由ハ(1)主トシテハ官業ガ私人ノ競爭者又ハ競爭者タルヘキモノニ與フル壓迫ガ不都合トイフニ在ル。即チ人民ハ營利ニ依ツテ生活スル。政府ハ此上ニ立ツテ政治スヘキモノデアル。政府ハ人民ノ營利ノ外ニ立ツテ其營利ヲ助成シ又監督シ、(註一五)隨フテ人民間ノ利害ノ衝突ヲ調和スヘキモノデアルノニ、自ラ營利ヲ計リテ、人民ト競爭ヲ爲シ、人民ヲシテ競爭ヲ困難ニ感ゼシメ、(註一六)以テ人民ノ營利ヲ狭メ往々ニシ

(42) Adams, l. c. p. 262.

(43) Borght, a. a. O. S. 55.

(44) Nitti, l. c. p. 243.

(45) Bastable, l. c. p. 193.

(46) Adam Smith, Wealth of nations. B. V. ch. II. pt. I.

テハ又之ヲ政府ノ獨占ト爲シテ人民ノ營利ノ存立ヲ奪フニ至テハ、政府ノ本分ヲ全フセザルモノデアル。(註一七)斯クテ人民ヲシテ政府ヲ嫌惡セシメ、治者ト被治者トノ間ニ反感ガ生スルコトナリ、(註一八)政府獨占ノ場合ニハ箇人ノ自由ヲモ抑制スルコトトナル。(註一九)孰レモ政治ノ努メテ避クヘキモノヲ爲スコトトナル(2)次キニハ官業ヲ爲セバ政府ガ物又ハ勤務ノ需要者カラ非難ノ標的トナルガ、其ガ避クヘキコトデアルトイフノデアル。例之鐵道ニツイテ曰ヘバ、官業デアルト賃率、列車排置、取扱振等ニツキ政府ガ苦情ヲイハルルコトトナリ、臆ガテハ其カラシテ政治ノ基礎ヲ危フスルコトニモナル。(註二〇)(3)更ラニ官業ニテハ政府ガ其使用人勞働者トノ間ニ爭ヲ生ズルコトトナリ、此ニモ治者カ被治者相互ノ間ノ爭ヲ調訂スルノデナクテ、自ラ爭ノ渦中ニ投ジテ其當事者トナル。其ガ良クナイトイフノデアル。(註二一)

(註一四) ぶあいふあいハあだむすみすニ基キ、良キ治者タルコトト、良キ營業者タルコトトハ一致スヘカラザル條件デアルトイヒ、其例トシテ英國東印度會社ヲ引キ、其商業の精神ガ良ク統治スルコトヲ不能トシ、其後ハ其統治活動ガ其營業ヲ満足ナル方法ニテ營ムコトヲ不能トシタトイフテ居ル。あだむすモ收入ノ爲メノ政府事業ノ減退ノ傾向ハ實證ニ値スト信セラ<sup>47)</sup>ル。近世政治哲學ノ假定ハ收入ノ爲メノ公營業又ハ法律上ノ獨占ニ反對スルトイフ。<sup>48)</sup>

(註一五) きゅーふーハ曰ク、事業ノ運轉ハ本來私企業ニ適シ、事業ノ監督ハ國家及自治體ノ相當ナル機能デアルト、<sup>49)</sup>

(註一六) きゅーふーハ曰ク、私人ノ盡力ハ、政策ヲ使用シ場合ニヨツテハ裁判所ナモ使用シ得ル競争者(政府)ニ對シ、競争ヲ困難ニ見出スト、<sup>50)</sup>

(註一七) べるぎうスハ曰ク、多少獨占的ニ營マルル所ノ國家營業ハ不當ニシテ有害也。何トナレバ政府ハ人民ノ營業心ヲ掩

47) Pfeiffer, Die Staatseinnahmen. I. S. 95.  
 48) Adams, l. c. p. 273.  
 49) Guyot, l. c. p. 269.  
 50) Guyot, l. c. p. 431.

護スルトモ、制限スヘキモノデナイカラト、ふなつけハ曰ク、國家企業ハ私人ノ企業心ト並行シテ存在スルヲ要スル。之ト競爭スルダケテハ、私企業心ヲ害ヒ、之ニヨリテ國家ノ性質及目的タル經濟上ニ於ケル凡ヘテノ人々ノ幸福ノ増進ヲ計ルコトニ反スルコトナル。隨テ國家ニハ概シテイヘバ工業の企業ヲ營ムコトヲ許スヘカラズトイフコトナルト。<sup>51)</sup>

(註一八) ぶあいふあい曰ク、國家ガ其人民ト競爭ニ進ムトキハ、人民ヲシテ國家ヲ嫌惡スル念ヲ生セシメ、治者ト被治者トノ間ノ反對ノ感知ヲ增長セシムルト。<sup>52)</sup>

(註一九) ぶあいふあい曰ク、政府ノ獨占トナレバ、箇人ノ自由行動ノ制限トナル故、正當ナル限界ヲ越エルモノトナルト、<sup>53)</sup>

ぎゆーしハ曰ク、公共獨占ハ競爭ヲ破壞スルコトニヨツテ自主ノ精神ヲ殺スノデアル。其結局ノ結果ハ產業皆睡デアルト  
(註二〇) ぼーりゆーハ曰ク、國家ガ貨率、列車組織ニツキ非難苦情ノ衝點トナルコトハ不得策デアル。此ガ政府ニ對シテ不  
平反對ヲ無益ニ増加スルコトナツテ、集中の行政ノ國ニ於テ政府ノ不動ノ大ナル障礙ノ一トナルト。<sup>54)</sup>

(註二一) ばすてーぶるハ曰ク、國營業ノ避クヘカラザル結果ハ國家ト其使用人トノ間ノ不満足ノ可能デアツテ、恐ラクハ此ガ  
同盟罷工ニモ進ムコトトナル。公權力ノ此場合ニ於ケル地位ハ困リタルモノデアル。秩序及公平ヲ維持スヘキ政府ガ爭ノ當  
事者ノ一方トナルト。<sup>55)</sup>

此非難ハ洵ニ有力ナルモノデアル。之ヲ排除スルノニハ或ハ(1)全然官業ヲ止メルノ外ナシトモ  
イハルルガ、其場合ニモ前記ノ如ク公益上特別ノ理由アルモノハ許サルルトシテ、或ハ(2)却ツテ  
反對ニ一切ノ企業ヲ政府ノ手ニ收ムルコトトスルノガ夫ノ非難排除ノ一方法カモ知レナイ。斯ク  
ナレバ政府ト企業者トガ一致シ、今日ノ所謂企業經營ガ政治トナリ、此ニ達スル過渡ノ時代ニハ  
苦情モ起ラウガ、慣ルルト、人民ニ特別ナル心理狀態ガ生ジ、官業ガ行ハレテ居テモ、今日ノ如  
キ分裂のナル對政府反感ハ起ラズシテ、新シキ共同的ナル道義心ガ生ズルコトトモナルデアラウ。

51) Bergius, Grundsätze der Finanzwissenschaft. S. 206.  
52) Vocke, Die Grundzüge der Finanzwissenschaft, S. 34-5.  
53) Pfeiffer, a. a. O. S. 95.  
54) Derselbe, ebenda.  
55) Guyot, l. c. p. 437.  
56) Beaulieu, l. c. p. 101.  
57) Bastable, l. c. p. 228.

(註二) 併シ其ガ到底容易ニハ行ハレナイトスレバ、矢張り官業ハ出來ルダケ制限スル。公益上ノ理由アルモノニ限ル位ノ處ニ歸ルノ外ハナイ。特ニ此際動モスレバ財政收入ノ爲メニ利用サルル傾ノ大ナル夫ノ鐵道ノ如キニ於テ、此公益上ノ理由ニ相應シタル經營法ヲ採ルコトヲ獎メナクレバナラス。一體鐵道ハ經濟以外、軍事政治社會文化一切ノモノニ汎汎ナル影響ヲ有シ、經濟上ニハ國內ノ凡ヘテノ箇人財産ノ一般の價值ノ基礎トナリ、隨フテ本來私人ノ私有財産ニ屬スヘキモノデナク、又國庫ノ利益ノ爲メニ使フヘキモノデモナク、專ラ公益ノ爲メニ有タルヘキモノデアツテ(註三)而モ政府ニテモ經營ノ比較的容易ナルノ故ニ(註四)政府ノ有トセラルヘキモノデ、隨フテハ之ヲ管理スルノニ營利主義ニ依ラズ、手數料主義ニヨツテ(註五)賃率ヲ定メ、全體上其費用ヲ償フヲ以テ甘ンズル位ニスルナラバ、最早此鐵道ノ國營ガ企業デハナク、寧ロ政治ヲ爲シ居ルコトトナリテ、他方諸多ノ産業ハ出來ルダケ人民ニ任カサルルトシテ、此等ノ産業ハ右ノ鐵道ガ政府ノ手ニ在ツテ低キ手數料主義ニテ營マルル爲メ其營利ヲ有利トセラレ、人民ノ企業ハ益々發達スルコトヲ得テ、原則上政治ト營利トノ衝突ナキヲ得ルコトトナル。勿論之ニ依ツテモ私人ノ鐵道經營ヲ爲サントスル者即チ政府ノ競爭者タルヘキ者ハ失望セザルヲ得ナイデアラウガ、右ノ如キ方針ニテ鐵道ノ經營セラルルヲ見ルトキハ、彼等モ容易ニ諦メルコトガ出來ルコトトナルデアラウシ、鐵道勤務ノ需要者ノ苦情モ少クナリ、使用人トノ間ノ爭ハ多少殘ルガ、此ハ一般

行政ノ範圍ニモ多少ハアル所デ、此位ノ事ハ已ムヲ得ナイトスル外ハナイ。

(註三二) 尤モばるぐさハ公營業カ私經濟的行爲ニ十分ナル活動區域ヲ許サザル程ニ擴張スルコトハ不當ナリトイフ<sup>58)</sup>

(註三三) へつけるハ曰ク、國有鐵道ノ固有ノ經營ハ交通方便ノ公共的性質ニ適フ<sup>59)</sup>。すたいんハ曰ク、各ノ一般の交通方便ハ其ノ本質ハ公共的デアル。交通ハ全國民經濟ノ内部ニ於テ凡ヘテノ箇人財産ノ一般の價值ノ基礎ナルノ故ニ、此ガ方便ハ全體ノ國民經濟的發達ノ絕對ノ前提デアル。此故ニ此ガ其本質上、私有財産ニモ國家財産ニモ屬スヘカラズシテ、公共財産トシテ現ハルト。<sup>60)</sup>

(註三四) (い)鐵道ノ如キハ經營ノ比較的容易ナルモノデアル。例之ういごふんるさハ、各種ノ經濟的事業ガ公共團體ニヨリ適當ニ經營セラルルハ事業ノ性質ガ旅客運輸等ノ如ク一定ノ範例ニヨリ經營セラルルヤニ係ルトイフ<sup>61)</sup>。(ろ)併シばーリゆーハ鐵道經營ハ郵便電信ノ其ノ如ク簡單ナモノデナイ。而シテ大ニ複雑ナル公共勤務ニハ箇人又ハ會社ガ國家ヨリモ選マレナクレバナストイフコトヲ附說スルヲ得トイフテ居ル<sup>62)</sup>。ガ此ハ過言デアル。

(註三五) ざつくすハ國有鐵道ニ於テハ、一般樂財產原則ニコツテ管理スルコトハ問題トナフヌ。隨ツテ夫ノ三ノ共同經濟的原則ノ中ノ幾ノ二ノモノ間ノ選擇アルノミトイヒ<sup>63)</sup>。手數料原則ハ唯ダ全體ノ費用ノ充足ノミヲ努ムルノニ(或ハ其一部ノ補助原則ニ從フテ)企業原則ハ受領者ニ對スル各箇ノ給付ノ價值ニ從テ其給付ノ價格ヲ定ムルトイフ<sup>64)</sup>。而シテすたいんハ曰フ國家ノ凡ヘテノ企業ニテハ(國家ハ唯ダ其行政的活動ノ條件及部分トシテ現ハルル企業ノミヲ初ムルヲ得)營利及財政上ノ收益ノ觀察點ハ全ク從屬的ノモノト認メラレナクレバナラス。國家ノ凡ヘテノ營業的設備ハ其財政上ノ成績ガ財政上ノ利拂ヲ作ルコトノ代リニ、手數料ノ支拂ニ基クガ如クニ制定サレナクレバナラス。而シテ此手數料ハ國家經濟的利益ガ之ヲ要求スルナラバ、財政上新カル企業ガ手數料收入ニ對シ損失ヲ以テモ活動スルガ如クニ定メラレナクレバナラスト。<sup>65)</sup>

## (B) 技葉のノ否定論據——

(イ)官業ノ經營ガ放漫ニ流ルル傾アルコト

論說 官業問題ニ就キテ(一)

第四卷 (第一號 一二三)

一三

58) Borgh, a. a. O. S. 47.

59) Heckel, a. a. O. S. 343.

60) Stein, a. a. O. S. 236-7.

61) 東亞經濟調查局・官營事業ト私營事業 II.

62) Beaulieu, l. c. p. 101.

63) Sax, Die Verkehrsmittel in Volks-und Staatswirtschaft. II. Die Eisenbahnen. S. 223.

64) Derselbe, ebenda. S. 224.

65) Stein, a. a. O. S. 219.

即チ官業デアルト、民業ガ政府ノ監督ヲ受クルト異ツテ、政府ノ上ノ政府ナク、其上ノ監督者ナク、隨テ其經營ガ放漫ニ流ルルノ傾ナシトイフヲ得ナイ。(註二六)トイフ非難ガアルガ、此ハ別ニ大シタ非難デハナイ。(1)論者ハ政府ノ上ノ監督者ナシトイフケレトモ、實際其上ニ議會及輿論ノ監督ガ行ハレ得ルシ、(2)加之獨逸ノ鐵道ノ如ク、特別ナル監督機關ヲ設クルコトモ出來ルカラ、其ソナニ此點ニツキテ心配スルニハ及バヌ。

(註二六) わぐな一ハ曰ク、管理上餘リ獨立過グルコトナルトイフ非難ハ必スシモ不當デハナイト<sup>(66)</sup>

(ろ)官業ガ政府ノ勢力ヲ大ニシ(註二七)政治ノ腐敗ヲ齎ラスコト(註二八)

即チ先ツ(1)官業ガ政府ノ力ヲ餘リニ強大ナルモノトシ、政府ヲシテ官業ニ於ケル地方利益ヲ餌トシテ我儘ナル政治ヲ行ハシメ(註二九)、政治家ノ野心ヲ増長サスルコトトモナル(註三〇)(2)人民ハ又政府ニ對スル實質者トシテ(註三一)使用人トシテ官業工場鐵道等ヲ建テラルル地方民トシテ政府ヨリ得ル所アラントシテ之ニ媚ブルコトトナリ、人民ノ政治上ノ獨立心ガ傷ハルルコトトナル。(註三二)(3)役人ハ人民ヨリ請託ヲ受ケ(4)議員モ人民ガ地方利益ヲ代表スル者ヲ選ムコトトナリテ、(註三三)彼ハ議員トシテ自由ニ公平ニ言動スル能ザルコトトナリ、更ラニハ他ノ方面ヨリ買収サルルコトトナルノ危險モ伴フ。斯ノ如クニシテ結局國民ノ政治上ニ於ケル正義觀念ガ消磨サルルコトトナル。(註三四)併シ此等ノ弊害ハ(1)教育、官業事項ノ公表、議會及特ニ輿論ノ監督、役人給料ヲ高ク

<sup>(66)</sup> Wagner, a. a. O. S. 694.

<sup>(67)</sup> Wagner, ebenda.

<sup>(68)</sup> Wagner, ebenda



スルコト等ニヨツテ多少ハ救済サルルコトガ出來、<sup>69)</sup> (2) 民業ノ場合デモ、特ニ鐵道ノ如ク大會社暨トナル傾アルモノデハ、此會社ガ政治上ノ大勢力トナツテ政治ヲ腐敗スルシ(註三五)、又鐵道敷設等ノ爲メノ地方民ノ運動隨テ鐵道理事者ノ腐敗(此場合ニハ一ノ政治問題デハナク、一ノ社會問題デハアルガ)ハ此民業ノ場合ニモアルカラ、夫ノ非難ヲ以テ官業ニ於ケル特段ナル重大非難トイフコトハ出來ナイ。

(註二七) ねーべるひハ曰ク、國有鐵道ノ實行ハ政府ノ力及勢力ヲ大ニ強ムルコトナルト、<sup>70)</sup> ねぶべりーハ曰ク、國家ガ鐵道ノ管理ヲ爲ス國デハ、國家ノ役人ノ數ガ多クナリ、官僚ノ勢力ガ頗ル大トナラナケレバナラヌト。<sup>71)</sup>

(註二八) ぎゅーまーハ曰ク、政府及自治體ガ其機能ヲ増加シ、經濟的專業ヲ爲セバ爲スホド、腐敗(こらぶしなん)ノ機會ガ増加スルデアラウト。<sup>72)</sup>

(註二九) ぶあいふあーハ曰ク、官業ニヨリ、選舉又ハ其他ノ國民意思ノ表示ニ於テ影響ヲ與フルコトガ政府ニ容易トナルト、<sup>73)</sup> ぼーりゆーハ鐵道ニツイテ曰ク、鐵道ノ國營ガ權力ヲ有ツ人ニ腐敗ノ手段ヲ與フルコトナル。―自由ナル選舉隨テ一般ニ自由ハ、鐵道ガ國營ナル國ニテハ危機ニ瀕セシメラルト。<sup>74)</sup>

(註三〇) ぎゅーまーハ曰ク、政治上ノ野心ガ斯カル官業案ノ親石デアルト。<sup>75)</sup> 又曰ク、自治體及國家企業ノ背後ニアル動機ハ例其首唱者トシテノ政治的又ハ行政的勢力デアルト。<sup>76)</sup>

(註三一) わぐなーハ國有鐵道ニツキテ曰ク、鐵道ノ爲メニ勸ク所ノ營業者荷主ガ政從屬ヲ生シ、此ガ政治上疑問トナルト。<sup>77)</sup>

(註三二) わぐなーハ曰ク、國有鐵道制度ハ政府ニ對スル人民ノ政治上ノ獨立ヲ危フスル。何トナレバ鐵道ヲ得ンガ爲メニ、或地方又ハ或場所ガ政治上從屬トナラナケレバナラヌ。又從屬トナルカラデアル。國家ノ役人及代議士ノ健全モガ容易ニ鐵道ヲ希望スル者ノ爲メニ使サルルコトトナルト。<sup>78)</sup>

69) Wagner, a. a. O. S. 693.

71) Avebury, Staat und Stadt als Betriebsunternehmer. S. 115.

72) Guyot, l. c. p. 423.

74) Beaulieu, l. c. p. 101. 103.

76) Guyot, l. c. p. 15.

78) Wagner, a. a. O. S. 693.

70) Eheberg, a. a. O. S. 97.

73) Pfeiffer, a. a. O. S. 101.

75) Guyot, l. c. p. 398.

77) Wagner, a. a. O. S. 692.

(註三三) きゆーよーハ普相みけーるノ言ヲ引イテ曰ク、鐵道ガ帝國ノ物トナリ、帝國議會ガ鐵道ノ實率ヲ定ムル權ヲ有ツコトナレバ、腐敗ガ生シ、選舉民ハ國民全體ノ利益ヨリハ地方的利益ヲ計ル代議士ヲ選ムコトトナルデアラウト。<sup>(79)</sup>

(註三四) ぶあいふあーハ曰ク、之ニヨリ國民ノ正義感情及道義の觀念ガ進メラレノイト。<sup>(80)</sup>

(註三五) わぐなーハ曰ク、大鐵道會社ガ容易ニ憂慮スヘキ力ヲ得テ、國家ノ内ニ國家ヲ作ルコトトナルト、えーべるのひハ曰ク、大會社ガ大ナル勢力ヲ有チ、其濫用ノ危險ガアルト。<sup>(82)</sup> かいづるニ至テハ此力ガ政府ニ在ル方ガ、夫ノ私人面モ少數人ノ手ニ在ルヨリモ一層良シトイフテ居ル。<sup>(83)</sup>

は官業ガ人民ノ獨立自主心ヲ消磨スルコト

即チ官業ガ行ハルルダケ人民ヲシテ役人階級ニ入ラシメ(註三六)彼等ニ獨立自主ノ念ヲ消磨サセ

(註三七) 臆ガテ彼等ノ活動元氣ヲ喪失サスコトトナリ、國運ノ發展ヲ妨グルコトトモナル。之ヲ防グノニハ役人トナツテモ獨立自主心ヲ失ハヌヤウナ精神教育ヲ施セバ良イトモイハルル。勿論其

實績ヲ舉グルコトハ困難デアラウガ、然リトテ此ガ全然望ミナシトイフコトモ出來ナカラウ。

(註三六) ぶあいふあーハ曰ク、官業ガ役人即チ政府ニ從屬スル人ノ數ヲ増加スト。<sup>(84)</sup> ぼーりゆーモ亦曰ク、餘リニ多クノ使用人ヲ使ヒ、政府ノ從屬者ヲ多ク作ルコトハ不得策アルト。<sup>(85)</sup>

(註三七) えぶべりーハみるノ言ヲ引イテ之ニヨリ自由ガ名ノミトナルトイヒ、みるハ營業生活ガ人民ノ實際教育ノ重要ナル部分也トイフテ民業ノ長所、随フテ官業ノ短所ヲ説ク所デアル。<sup>(86)</sup>

79) Guyot, l. c. p. 423.  
81) Wagner, a. a. O. S. 692.  
83) Kaizl, a. a. O. S. 65.  
85) Beaulieu, l. c. p. 101.  
87) Mill, Principles of political economy. B. V. ch. XI. §. 6.

80) Pfeiffer, a. a. O. S. 102.  
82) Eheberg, a. a. O. S. 97.  
84) Pfeiffer, a. a. O. S. 101.  
86) Avebury, a. a. O. S. 10.